

2011年度 立教 SFR 国際会議助成成果報告書 (A, B, C)

1. 会議概要

会 議 名	和文	辺境からの視座 ―古代ガリラヤの文化諸相とその歴史的意義		
	欧文	Perspective from a Periphery – Galilee in the Developments through Ages		
主 催	立教大学文学部キリスト教学研究科			
共 催	日本聖書学研究所			
後 援				
開催責任者	所属	文学部キリスト教学科		
	氏名	月本 昭男	印	
運営事務局	事務担当者			
	氏名	長谷川 修一		
開催期間	2011年 5月 27日 から 2011年 5月 29日まで			
開催場所	太刀川記念館 3階多目的ホール			
参加者数※1	学内	5 名		
	学外 国内から招聘	12 名		
	海外から招聘	6 名	3 カ国	合計 23名 4 カ国
公開講演会等 参加者数※2	①	年 月 日	名	カ国
	②	年 月 日	名	カ国
開催日程		午前	午後	夜
	第1日 月 日		発題講演 1 古代ガリラヤの都市化の一 様相 (仮題)	レセプション
	第2日 月 日	パネル1 新石器時代・青銅器時代のガ リラヤ地域の物質文化とそ の精神性	パネル2 後期青銅器時代・鉄器時代の ガリラヤ地域の物質文化と その精神性	
	第3日 月 日	パネル3 ローマ時代のガリラヤの物 質文化と福音書研究	発題講演 2 ガリラヤから見たエルサレ ム	
開催経費総額	予算額	3,400,000 円	執行額	2,299,122 円

※ 1 参加者とは、会議において講演、パネラー、コメンテーター等の活動を伴う者をいう。

※ 2 一般に公開された講演会等に聴講のために参加した者。講演者、パネラー等は除く。所要経費が
60万円以上の会議で参加者がのべ100人を超える場合は、参加者名簿を添付すること。

2. 開催趣旨概要

本国際会議は、申請者が科研とSFRの資金によって2006-2010年度に同地域で行った考古学的発掘調査成果を基盤に、文明の十字路口に位置するガリラヤ地域の文化史的重要性を、先史時代から中世にいたるまで、考古学、文献学、美術史の分野から最新の調査研究成果を公表しかつ論じることを目的としている。

3. 国際会議の成果概要・今後の展望等

本国際会議には、聴衆がのべ200人以上来場し、二つの発題講演、三部から成るパネルの中で、多くの新知見を含めた発表と、主題についての理解を深める活発な討論とが行われた。初日には急きょ在日イスラエル大使ニッスイム・ベン・シトリット氏が来場され、開会に際し、イスラエルの一地域を主題とした国際会議が日本国内において行われることの意義深さについてお言葉を賜った。

同会議により、辺境としての古代ガリラヤ地域の文化的側面が、考古学的、美術史的、文献学的に浮き彫りになるとともに、これらそれぞれの点を長期的視点と複眼的視点から古代ガリラヤ地域の文化を総合的に検討することによって、これまで明らかにされてこなかったガリラヤ地域の文化の特異性を認識することができた。

これらの会議の成果は、海外からの参加者の提案に基づき、月本昭男・佐藤研・長谷川修一が編集者となって、今後海外の大手出版社から英文で出版する予定である。

4. 会議の構成

(1) 学内参加者

氏名	所属・職名	会議における活動	内 訳
月本 昭男	文学部・教授	総括・事務・食事買い出し・コピー等	文学部 4名 異文化コミュニケーション学部 1名
佐藤 研	文学部・教授	総括・司会 3日目午前	1名
加藤 磨珠枝	文学部・准教授	事務・ディスカッサント 3日目午後	1名
黒岩 三恵	異文化コミュニケーション学部・准教授	企画・司会発題講演 2	1名
長谷川 修一	文学部・兼任講師	渉外・司会発題講演 1、司会 2日目午後	1名
			その他 ()
			計 5名
変更内容 (氏名、不参加/追加の別)			

(2) 学外参加者 (国内、国外)

氏名	国名・所属・職名	会議における活動	内 訳
Bianca Kühnel	【国外】 イスラエル・ヘブライ大学・美術史学部・教授	発題講演 2	国名 日本 11名 アイルランド 1名
Mordechai Aviam	イスラエル・キネレト大学・ガリラヤ考古学研究所・講師	第3パネル、パネラー	スイス 1名 イスラエル 4名
Hamoudi Khalaily	イスラエル・イスラエル考古局・研究員	第1パネル、パネラー	
Yitzhak Paz	イスラエル・ベン・グリオン大学・講師	第1パネル、パネラー	計 4カ国 17名
Stefan Münger	スイス・ベルン大学・聖書学研究所・学術助手	第2パネル、パネラー	
Sean Frayne	アイルランド・ダブリン大学・ヘブライ語、聖書、神学部・教授	第3パネル、パネラー	
西秋 良宏	【国内】 東京大学総合研究博物館・教授	第1パネル、コメンテーター	
杉本 智俊	慶應大学・文学部・教授	第2パネル、コメンテーター	
牧野 久実	鎌倉女子大学・教育学部・准教授	司会 2日目午前	
桑原 久男	天理大学・文学部・教授	発題講演 1	
金沢 百枝	東海大学・文学部・准教授	発題講演 2、ディスカッサント	
津本 英利	(財) 古代オリエント博物館・研究員	第2パネル、パネラー	

門脇 誠二	東京大学総合研究博物館・特任助教	第1パネル、パネラー	
安倍 雅史	東京文化財研究所・特別 研究員	第1パネル、パネラー	
橋本 英将	(財)元興寺文化財研究 所・研究員	第3パネル、コメンテーター	
山口 雅弘	日本基督教団正教師	第3パネル、パネラー	
秦 剛平	多摩美術大学・美術学 部・教授	第3パネル、パネラー	

変更内容 (氏名、不参加/追加の別)

不参加: Zvi Gal、Yanir Milevsky、常木晃、市川裕、上村静、足立拓朗、前田修

追加: Hamoudi Khalaily、山口雅弘、秦剛平